

平成25年度決算認定

一般会計及び7会計すべて

国民健康保険特別会計

制度の健全な運営

三上公博議員

賛成

町民の病気や怪我、出産、死亡に関して医療費の支給がなされたものである。被保険者の負担の公平性と納付促進の観点から納税相談等によって減免、短期被保険者証、資格者証の発行もされ、町民の健康が守られているので、本決算認定に賛成する。

賛成 14人

高すぎる国保税

深沢宏美議員

反対

所得200万円4人家族で年間30万円と高すぎる国保税。加入世帯の24%が滞納、被保険者証一時発行停止112世帯、短期被保険者証は384世帯に発行。発行世帯の8割が200万円以下の低所得層でありながら、減免制度や発行を中止する姿勢もなく反対。

反対 1人



介護保険特別会計

事業の長期安定化及び健全化のため

平山 忠議員

賛成

近年の急速な高齢化や認知症及び独居高齢者の増加など高齢者を取り巻く環境は、大きく変化している。介護予防のサービス増加と介護サービス事業の増大により制度の安定運営が課題となっている。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう賛成する。

賛成 14人

高齢者負担を軽減する姿勢もない

深沢宏美議員

反対

介護料の引上げが高齢者の負担を増大させ、普通徴収者947名の内、264名28%の方が滞納者、介護難民を増やさないためにも、減免制度の創設、国の負担率の引上げの要望などが必要であるが、高齢者の負担を軽減する姿勢もなく反対。

反対 1人

水道事業会計

安全安心な給水確保のため

大島光行議員

賛成

水道事業は、安全で安心した給水と未普及地域解消が必要不可欠である。

今後、放射能汚染や自然災害による地下水悪化が懸念されることから、給水の早期確立が急務である。更に水道料金への消費税課税は、税法に基づく課税であり本議案に賛成する。

賛成 14人

住民本位とは言えない

深沢宏美議員

反対

水道料金は県内で上から8番目と高く、水道料金の滞納額は1620件で、3529万円。徴収業務を民間委託化、機械的に滞納者に対し給水停止を行い、20軒が給水停止。滞納者が低所得者でありながら減免措置もとらないなど、住民本位とは言えず、反対。

反対 1人